

2. 防災・安全

	タイトル	意見等
1	災害時の支援体制	能登半島で地震をきっかけに、改めて地震について考えることが増えました。南海トラフ地震もいつ起こるか分からない状況で、命を守ることはもちろん、被災後の生活に対する不安も大きいです。 南海トラフ地震などの災害に備えて、姉妹都市ではないですが、各都道府県が事前にサポート県を取り決めておいた方が良いのではないのでしょうか。例えば、徳島県が被災した際に、遠くにある長野県が最初のサポート県となり、事前に把握している空き家などを活用することで、徳島県民が復興するまで一時的に長野県に避難できる仕組みなどがあると少し安心です。徳島県民が避難先として長野県を選択することになり、一時避難でも長野県に多くの徳島県民が集団で避難するとなると孤独感も軽減されるのではないのでしょうか。 能登半島の地震においても、中学生が集団避難をしているが、おそらく顔見知りの集団での避難であるから、それが可能になったのだと思います。 災害の際、支援する側としてまず思い浮かぶ対応は寄付である。上記のようなサポート体制を設けることにより、現状に対して寄付以外にも何か自身でもできることはなにかと心を痛めている人は多いと思います。サポートをする県としては、今後増えてくる空き家など活用し、被災者が被災後に少しでも早く日常生活を送れるような住宅などを提供できる体制にしてはどうかと考えます。被災後に今後の人生を考えていく中、最低限の衣食住を被災者にいち早く提供できる仕組みがあってほしいです。 災害で心も体も傷つく中、せつかく生き延びた命を温かくサポートする、される仕組みがあると、サポートをする県にまわった時、寄付金以上の大きな支援が期待できるかもしれない。 明るい日本の未来が描きづらい令和の時代ではあるが、日本人の団結力や和、輪の力で地震列島日本を、スピーディーに、安全に、そして安心できる再生・復興の道があってほしい。
2	安心度UPIについて	後藤田正純徳島県知事様が北朝鮮からの複数の核弾道巡航ミサイルから徳島県民一人一人の生命と財産を守ってください。